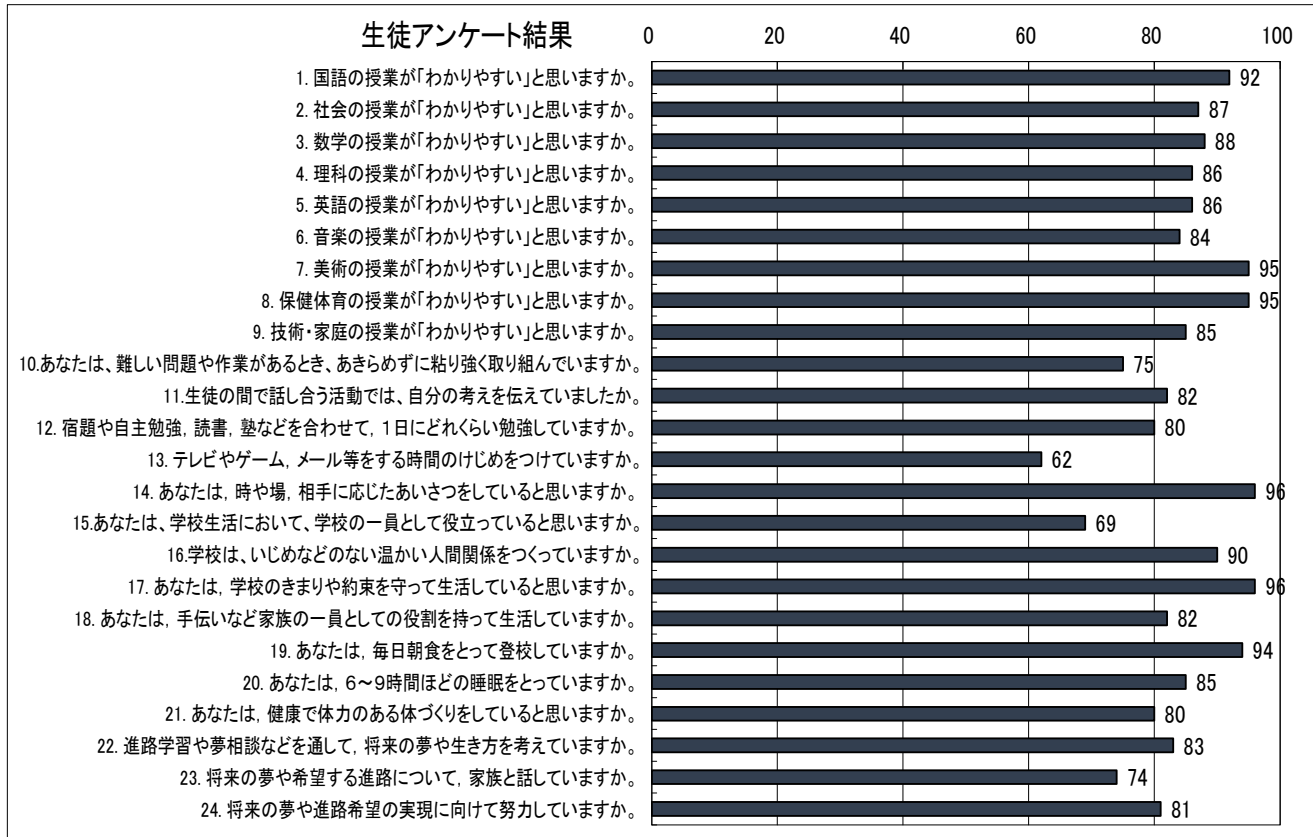


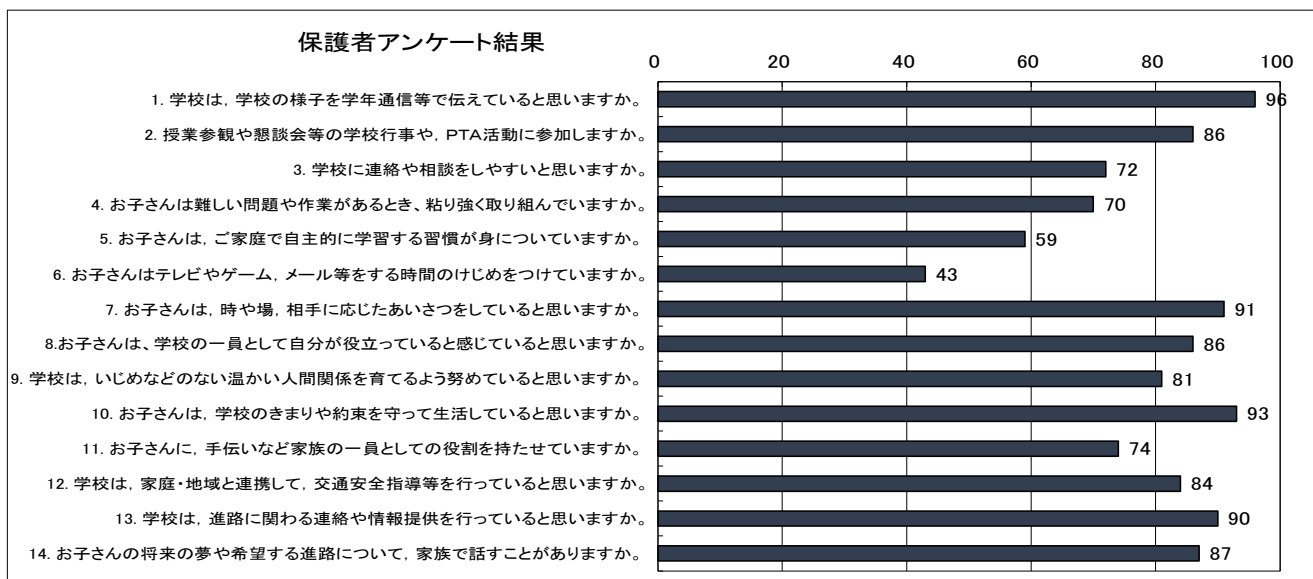


第2回学校評価アンケート結果とその対策について

12月の第2回学校評価アンケートではご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果をお知らせするとともに、本校の課題や取組の改善点について検討しましたのでご報告いたします。



※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。12.家庭学習の時間については1日1時間以上(塾や読書を含む)、19.朝食については週5日～毎日、23.進路の話し合いについては年2回以上の割合となります。



※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。2.学校行事やPTA活動への参加については年2回以上(入学式や卒業式を含む)、14.進路の話し合いについては年2回以上の割合となります。本校では、AとBの合計がおおむね80%以上となることを目標としています。

以下では、80%の目標に達していない項目のうち重要なものについて、「学校の具体的な方策」と「家庭へのお願い」を記述しますので、ご協力をお願いします。なお、保護者の自由記述に関しては、別日にお知らせします。あずま中学校での課題は以下の4点です。

表-1：あずま中学校の課題

- ①家庭学習時間の増加と家庭での自主的な学習態度・学習への粘り強く取り組む姿勢の育成（生徒設問10・12、保護者設問4・5）
- ②メール・テレビ・ゲーム時間のけじめ（生徒設問13、保護者設問6）
- ③進路への意欲・実現努力（生徒設問23・24）
- ④学校への相談のしやすさ（保護者設問3）

学校の具体的な方策

◆家庭学習時間の増加と家庭での自主的な学習態度・学習への粘り強い取り組み姿勢の育成のために

あずま中学校では以下の取組からこの改善を行っていきます。

- ①各教科で計画的に宿題を課す（月：国語、火：社会、水：理科、木：英語、金：数学）とともに、自主勉強と家読（うちどく）をすすめることで、家庭学習時間を増加させる（原則宿題は毎日あります。特に、2年生は新研究【3年間の復習と実力養成のための参考書】を使った宿題が始まりました。毎日こつこつと積み上げれば大きな学力向上が望めます。また、1年生は今学期に1年間の復習を行う宿題が出されます。頑張りましょう）。
- ②担任と担当で提出物の継続指導を行う（課題提出指導が厳しく行われるのはこのためです）。
- ③学習の手引きをあずまライフに載せ、活用するよう指導することで、学習習慣づくりを徹底する。
- ④道徳授業の中で、最後までやり遂げる心（向上心や勤勉・努力、自主・自律等）やさらに高みを目指す意志（理想の実現や強い意志等）、未知のものへの好奇心（個性伸長等）、仲間とともに協力して学習を深める姿勢（集団生活の向上や謙虚・寛容、思いやり、公德心等）を伸長させる。
- ⑤定期テスト前に「チャレンジ50」を実施し、家庭学習時間の増加を図ります。

◆将来の夢や希望を考えられる生徒を育てるために

あずま中学校では、進路学習の主な取組として、1年生で「身近な職業調べ」、2年生で「職場体験」「上級学校調べ」、3年生で「上級学校体験学習」を行っています。また、夢相談を通して生徒の自己理解や進路をめぐる諸問題の解決について支援しています。さらに、「未来力」学習講座などを通して望ましい職業観の形成を図ってきました。今後も「将来の夢や希望を考えられる生徒」の育成を目指し、さらにこの取組の充実を図っていきたくと考えています。

◆連絡や相談がしやすい学校にするために

お子さん等のことで学校へ相談がある場合は、家庭から学校への連絡方法として次の方法があります。「手紙」「電話」「連絡帳（あずまライフ）」

たとえ些細なことでも、連絡や相談をすることがありましたら、上の方法で遠慮なく学校に伝えていただけるとありがたいです。また、学校にはスクールカウンセラーの先生が週に1日勤務しており、お子さんだけでなく、保護者の方の相談も行っていますので、お子さんのことで悩みがあつて希望される場合は学校にご相談下さい。

家庭へのお願い

○テレビやゲーム、メール等のけじめをつけさせましょう。（重要なため再掲載）

仙台市教育委員会と東北大学による「学習意欲の科学的に関するプロジェクト」は「スマホや携帯電話を使用すると、睡眠時間や家庭学習時間には関係なく、使用時間に応じて学力が低下する」とする調査結果を発表しました。チームによると「これまで、点数が低い生徒は『スマホを長時間いじっていて勉強の時間がないから』と考えられてきました。ところがまったく違う結果が見えてきたのです。つまり、家でちゃんと勉強している生徒でも、スマホを使う時間が長ければ、家での勉強時間が少ない生徒よりも学力が下がっている傾向が統計的に表れたのです。」といい、「スマホの使用時間が長くなるほど生徒たちの中から、学校で習得した学習内容が消えてなくなった」と分析しています。

スマホや携帯電話について今一度ご家庭で話し合ってみましょう。特にお子さんが使用している場合は、上のグラフから平日1時間未満の使用が適切です。テレビやゲームも同様と考えられます。

スマホや携帯電話を使う時間ごとに見た数学の平均点

